

第44号

○発行年月日  
平成30年10月1日  
○発行  
社会福祉法人  
安房広域福祉会

〒294-0231  
千葉県館山市中里291  
TEL 0470-28-2422  
FAX 0470-28-2424

<http://www.nakazato.or.jp/>

# にじのかけはし



新米!

おまたせ

しました!



支援員 庄司 友孝

今年も無事に稲刈りが終わりました!  
昨年と同じ量の収穫ができほっとして  
います。稲刈りは8月の下旬からスタ  
ートし9月中旬に終わりました。序盤は天  
気も良く、快調に稲刈りが進みましたが、  
9月に入ると…台風。一度雨が降るとす  
ぐには再開できません。強風で稲も倒れ  
てしまい状況は悪くなる一方です。毎日  
のように天気予報を確認し、雨が降らな  
いかヒヤヒヤの毎日でした。機械の故障  
などトラブルは多々ありましたが農産  
加工班一大イベントを無事終えました。  
新米は施設の給食で皆さんに召し上がっ  
ていただいています。一般ではふれあい  
ショップ平砂浦で販売していますので、  
ぜひご賞味ください。来年は更においし  
いお米を作れ  
るよう、皆で  
協力していき  
ます!



法人

## 中里ふれあい 夏祭り

支援員 水島 健介

8月7日、中里ふれあい夏祭り当日。天気は快晴・・・とはいかず、時間帯によっては小雨がパラつく空模様。利用者の皆さんも不安な顔をしなから準備を行っていました。

夕方、会場を練り歩く祭り屋台の引き回しから夏祭りスタート。伸びやかな木遣りの声、響き渡る太鼓と



▲夏！祭り！盆踊り！！



▲しまじろう音頭だよ～♪

笛の音が会場を一気にお祭りムードへと染め上げます。観客の注目はステージ上に移り、利用者の皆さんをはじめ、フラメンコ・ハワイアンダンス・里見流舞踊の方々が踊りを披露して下さいました。ステージの上や下で、笑顔で盆踊りを踊っていた利用者の皆さんがとても印象に残っています。さあフィニッシュは、恒例となった打ち上げ花火！・・・残念、強風の為に実施できませんでした。それでも、雨の心配が杞憂に終わり、利用者の皆さんの笑顔にあふれていた今年の夏祭り。大成功！だったのでないでしょうか。

そして、今年も館山市長金丸様、千

葉県議会議員三沢様、館山市議会議長榎本様をはじめ、多くのご来賓の皆様にもご来場いただき、また、協賛出店といたしまして、わかたけ社会センター様、白浜豆腐様、となりのやきとりやさん様、百笑園様のご協力をいただきまして、盛大に開催することができましたこと、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



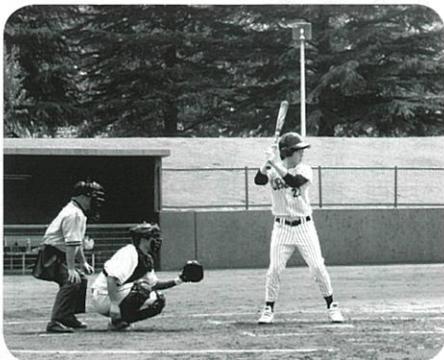
▲皆で一緒に踊ろうよ！

法人

## 施設職員交流 野球大会

支援員 平嶋 洸介

7月24日に成田市中台運動公園野球場にて第二回施設職員交流野球大会が行われ、中里ルーキーズからは12名の職員が参加しました。第一試合は畠山施設長と堀江さんの継投で勝利をすることが出来ました。第二試合は相手チームの勢いを止めることが出来ずに負けてしまいました。今回の大会で他施設の職員の方々と交流を深めることが出来ました。次の試合へ向けて日々の練習を頑張っていきたいと思



▲ホームラン！！！？



## 祝 初流しそうめん

主任 豊崎 千恵



▲上手に取れるかな！?

7月の余暇支援。この猛暑の中何をやったら暑さも忘れて楽しめるかと考えたところ・・・そういえばワークって「流しそうめん」やったことなかった！少なくとも私自身まだやったことない！やってみたい！よし！やろう！と決まりました。しかし、60人も人がいてどうやるの？流しそうめんの台はどのくらいの長さ？何個？流すそうめんの量は？などクリアしなければいけない問題は山ほどあつ



▲麺が…こない…

たのです・・・それを職員一人一人の知恵と協力の下なんとか形になり、試作を重ね出来上がりしました！いざ始めてみると皆意外と中に入らずオドオドと・・・やり方を教えて、慣れてくれば勝手もわかり楽しそうに麺をすくっていました。ちゃっかり最後のザルの中から食べている人も・・・(でもその気持ちわかる)初の試みだったため量の調整がわからず、最後職員はごんだけ!?って程の量を食べました(笑) 来年はまた改良をしてリベンジしたいと思うのは私だけでしょうか・・・。

## 支援学校の生徒さんを迎えて

支援員 前田 浩彦



▲キョッキキョッキキョ

夏休みを利用して支援学校の生徒さんが、和麵家中里へ仕事実習に来られました。初めての実習場所に緊張しながら、お店の準備、皿洗い、出前下げ等をされました。和麵家には支援学校を卒業したOB、OGが何人か働いています。今回は彼らが仕事を教えてくれました。「この皿はこの場所」「乾いたタオルはここだよ」と先輩

たちが教えると、生徒さんは「ハイッ」と元氣よく返事、テンポよく作業をこなしていきます。先輩たちは言葉のコミュニケーションが難しい彼に、「わかったかな？」と寄りそいながら教えていました。そんな先輩たちも店の営業が始まると、注文をとったり、麺を茹でたりと、お客様の対応に追われて後輩をみているところではなくなっていましたよ、ひとりですぐに皆さんの食器を洗っていました。2日間の短い間でしたが、先輩たちの優しい顔、一生懸命で厳しいふたつの顔を見て、きつとなにかを感じとったことでしょうか。



▲はい！できました！

中里ワークホーム

### かにた婦人の村 納涼祭へ参加

WH利用者

僕は、初めてかにた納涼祭に行きました。かにた納涼祭の中で、コンサートを観たり、Tシャツを一枚二百円でかえました。かにた納涼祭は行くときは場所がぜんぜんわからなかった。他の人についていきました。また来年もかにたの納涼祭があつたら行きたいです。



▲良いもの買えたね♥

中里ワークホーム

### 行楽の秋に むかえた旅行記

主任 金木 隆裕



▲出発だ!!

にじのかけはしが発刊されている頃には、より秋も深みを増している頃かと思えます。秋と言えば読書・食欲・行楽等と言われますが、私も利用者の方と一泊で立山黒部アルペンルートを中心に信州への旅をしてきました。思い起こせば昨年、鉄道博物館見学から新幹線に乗り、軽井沢・万座温泉方面へ行きました。名湯の万座で露天風呂に何度も入り、食事や観光で楽しみ、来年はどうしようかという話から、「新幹線」「長野のそば」「温泉」という希

望から立山黒部アルペンルートを中心に計画を立てることになりました。当日はどんよりとした雲が朝からたちこめ、長野では大雨警報…でしたが、新宿から新型「スーパーあずさ」、帰りは北陸新幹線E7系「はくたか」乗車しメインの立山黒部アルペンルートではトローリーバス・ケーブルカー・ロープウェイ・高原バスと多彩な乗り物に乗りながら3千メートル級の北アルプスを感じ、大自然のスケールの偉大さと旅行での「非日常」を多分に味わいました。秘湯と呼ばれる「七味温泉」で乳白色の広い露天風呂に入り1日目・2日目の昼食はおそばをがっつり食べました。

旅行後、「旅行楽しかったね」来年はどう行こうか、「か」か「東北方面?」日光と温泉?宇都宮餃子?」など、来年の計画も始まっています。

皆さんも過ごしやすいこの季節にお出かけしてみたらいかがですか?



▲黒部ダムにて☆

桜の里

### 夏のお楽しみ

支援員 山下 和博

桜の里では、日々の生活の楽しみの一環としてお楽しみ会を毎月1回のペースで催しています。7月は、季節を感じられるかき氷作りとお祭りの雰囲気を楽しんで頂くことをテーマにしました。かき氷作りを行う前に、縁日をイメージして祭囃子の音楽を流しながら、水風船、玩具の金魚すくいなどを楽しんで頂きました。かき氷には、白桃、みかん、アメリカンチエリー、ポッキー、シロップ、練乳などをたっぷりかけ、高力ローのかき氷の出来上がり!中にはお代わりをされる方もあり、夏を感じる楽しい会となりました。



▲金魚さんいますか??

## こすもす

「お泊り会に参加して」

安房特別支援学校 高等部3年 小藤田 幸

8月24日(金)

こすもすで、お泊り会をしました。夕食は、幸楽苑でつけ麺をおいしく食べました。その後、ローソンでおにぎりを買いました。夜9時に寝ました。2日目の朝、おにぎりを食べた後、お迎えを待ちました。職員と一緒に沢山お話が出来て良かったです。今年で3回目のお泊り会、とても楽しかったです。



▲お友達と夕食楽しいね！



▲まだ眠くな～い♪

## こすもす

こすもす祭り！

支援員 豊崎 裕二

半纏・夕ボシヤツ・足袋・・・この時期になりましたねーと独り言を・・・さてさてこすもすでは一足早くお祭りをーワクワク・ドキドキと鼓動が聞こえんばかりの笑顔で始めました。ひもくじ・水ヨーヨーに・・・祭囃子を耳に足取りも軽く・・・神輿をバックに記念写真を撮ったり、か



▲当たりだ!!



▲冷たい!!

き水をクジでもらったお菓子でアレンジしてみたり・・・ご家族の皆さんも素敵な笑顔を覗かせお子さんたちと初夏の思い出が作れたと思います。会も終盤杉村保育士主催の即席菓子のつかみ取りが商品として・・・全員が勝てるように策略を・・・笑  
短い時間でしたがお子さん保護者さん職員の「輪」が自然とできたこの夏の「こすもす祭り」でした！

中里の家

ニード別旅行

支援員 小宮 瑠美

7月2日、梅雨も早々に明け、汗が滴るほどの晴天の中、東京ディズニーランドへ行ってきました。車中では「どんな乗り物があるかな」「何を買おうかな」と利用者の方と会話を楽しみながら向かい、到着すると人の多さに緊張している方もいました。



▲ナイス！ナイフ使い!!



▲夢の国、また来るね★

ディズニーに詳しい職員のおかげで様々な乗り物にもスムーズに乗ることができ、キャラクターとの触れ合いも楽しみました。(とても恐ろしい表情をしていたCさんを除いて…)

利用者の方の、乗り物から見える景色を真剣に眺める姿や、「好物なの」と言いながら美味しそうにクリームソーダを召し上がる姿など、普段、施設では見られない皆さんの姿を見る事ができ、嬉しく思いました。また来年、夢の国に来れたらいいな・・・と、秘かに願う私でした。

中里の家

とつぎょう散歩

支援員 川上 賢人

7月3日～4日、中里の家稼働班にて1泊ニード別旅行を実施しました。1日目は、東京ドームで読売ジャイアンツ対横浜ベイスターズ戦を観戦しました。お弁当を片手にみんな「がんばれー」と応援しました。普段でしたら、就寝している時間帯でし



▲お魚さんコンニチワ！



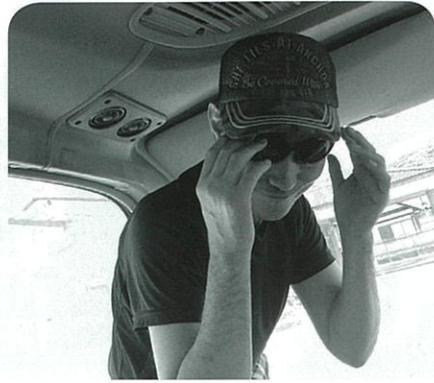
▲巨人は永久に不滅です!!

たが今日ばかりは特別です。オレンジ色のタオルを握って最後まで応援してきました。2日目は、すみだ水族館へ行ってきました。館内は、大きな水槽内に大きな魚や珍しい生物が多く飼育されていました。ゆつたりと見学をさせていただき、帰りには東京スカイツリーを眺めながら館山へと帰路に着きました。2日間ありがとうございました！  
次回は、サッカー観戦がしたいと要望をいただきます是非一緒にできたらと思います。

## 中里の家

### 真夏のBBQ

支援員 山田 正人



▲みんな！行くぜ！

猛暑の最中の8月27日、情熱ペンションにてG・H・3施設の利用者さん、世話人、支援員の総勢21名にて真夏のBBQを実施しました。海が目の前にある、ロケーション抜群な場所です。肉類、海鮮類、おにぎり、焼きそばとポリウムたつぷりのメニューに皆でにぎやかに談笑し、うだるような暑さに文句を言いながらも楽しく食事を行いました。お腹を満たした後は、涼しいペンションの室内にてカラオケ大会を実施しました。時間があっという間に過ぎる楽しい時間でした。



▲おいしいね♥



▲食べるが先か！焼けるが先か！



▲熱唱♪

## ワークス館山

### マリーゴールド 納品を終えて

主任 江部 徹



ワークスの農産作業も二年目を迎えて少しずつではありますが軌道に乗り始めてきました。そして初めていただいた大量注文。館山市の生涯学習課様から地域の花壇に植えるマリーゴールドの苗をワークスで作らせていただくことになりました。  
花苗を大量に育てた事がなかったので失敗したらどうしようといった不安だらけでしたが、経験者からのありがたいアドバイスもあり、5月の下旬から播種を開始して7月の下旬に全ての指定された箇所への納品を無事終える事ができました。

納品先では地域の方々との触れ合いがあり、一生懸命作業に従事されたワークス利用者の方々にとって、誰かに喜んでいただくという経験がまた次のお仕事へ向かう活力になったのではないかと感じました。



ふれあい  
ショップ

「ありがとう」は  
元気の源！

支援員 伊藤 学



▲いらっやいませ～!!

『この朝顔素敵ね！一つ頂戴な！』  
『はい、ありがとうございます。』  
『ありがとうございます。』  
『あら、じゃあ一ついただきます。』  
『ありがとうございます。』  
『ごええ、ありがとうございます。』



▲素敵な演奏でした♪

こんな会話は幾つになっても嬉しいものです。今回初めて、朝顔・ほおずき市に参加させていただきましたがとても楽しいことばかりでした。お客様とのやりとりは勿論、房南学園中等部吹奏楽部の皆様による演奏、商品の陳列やテナ張りなどの設営、そして当日までの準備も含めてすべてが勉強になりました。が、やはり一番の収穫はお客様の笑顔や『ありがとう』の一言です。この魔法の言葉をたくさんの人からもらえる自分になりたいです。

和麵家中里から

新そばの季節がやってまいりました。10月中旬より、長野県産の新そばをおたのしみいただけます。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

営業時間

月曜日～金曜日

11時30分～13時30分まで



実習生体験談

植草学園短期大学 青木 伶奈  
中里ワークホームにて、実習でお世話になりました、青木伶奈です。

私は、初めて施設実習をやらせていただき、わからないことが多くありましたが、利用者さんと職員の方から優しい声掛けをいただき

植草学園短期大学 笹子 亜己

中里ワークホームで二週間実習をやった初めての施設実習だったのでとても緊張しました。しかし、利用者さんがたくさん話しかけて

き、麵作りや加工の作業を楽しく行うことができました。利用者さんから「実習生が来てくれてよかった」と言っていたとき、二週間の間、利用者さんと過ごした期間が宝物になりました。ありがとうございました。

くださり、緊張がほぐれ楽しく実習を行うことができました。これからの将来に向けて実習で経験したことを活かしていきたいです。